



## 「ポジティブ志向が成功に導く」 神野博史愛知県議が「秘訣」を披露

### 第40回東海財界倶楽部例会を開催

第40回東海財界倶楽部例会が7月27日、名古屋市東区東桜、ホテルオークラレストランで開かれ、愛知県議で“成功トレーナー”としても活躍中の神野博史（じんの・はくし）氏（72）が「人生らくらく成功法—成功学を实践して幸せになろう—」の演題で講演した。

神野氏は1948年、愛知県生まれで早稲田大学政治経済学部卒業後、同大学院商学研究科修士課程修了後、愛知大学大学院講師の経験を経て公認会計士、税理士事務所を開設。98年から東海市議を1期務めた後2003年に愛知県議に初当選し現在5期目。19年には同県会議長も務めた。

神野氏が唱える成功学とは「どうしたら目標達成できるか」を自ら中高校時代から実践し、具現化した経験をモデルに、自分で編み出した方法を体系化した。氏はホワイトボードに図を描くなどして熱弁を振るい、約30人の会員らを感じさせた。講演要旨は以下の通り。



中学時代、成績順に机を並ばされたが、3番の成績の子と友達になり、なんで彼が3番なのか、をチェック。「勉強しとる」と言っても私は1時間だが、彼は3時間。これでは違うはず、と負けないうらい勉強し、中学3年では1番になった。

また憧れる国語の先生が早稲田大学の出身で「早稲田は良いぞ」と話したことからチャレンジ。高校時代は「成功日誌」を毎日書いた。書く力は話す言葉の30倍はあると実感した。大学時代は「どうしたら幸せになれるか」を友人らと話し、自分の意見も述べたが、信用されず、

信頼を得るためには弁護士か公認会計士の資格を取ろうと奮起。計画を立てて勉強し、公認会計士に合格。事務所も市役所前に設立し顧客の確保に努めた。

講師時代に教え子を褒めて学習意欲を持たせる極意や、無所属で県議員に初出馬時、教師時代の実績から保護者らが電話で支持者を拡大してくれてトップ当選したエピソードなども披露。「成功学」のエキスとして「しっかり目標を立てて信じ込む」「毎年1回は人生計画書を作成する」「計画書を定期的に見直し、成功日誌でフォローアップする」などを示した。

さらに成功するための心得として次のようにまとめた。①目標を持ったなら諦めない。目標に公益性、社会性は必須で、レベルを下げない。必ず協力者が現れてくる②出会いが人生を変える。金持ちになりたかったら金持ちと付き合う③世のため人のためは結局自分のため。人の幸せを心から喜べる素直な気持ちを持つ④ポジティブな考えが成功に導く。世の中は基本的にいい方向に向かっているというプラス思考⑤成功行動を習慣化する⑥人生、いつも“楽進”でいく。どんな苦難でも成功の過程だと楽しむ。⑦想えば実現する。そんな状態が続いているが、知多四国霊場巡りをして感謝で表している。



<お礼とご報告> コロナ下でしたが、東海財界倶楽部は会員の皆様のご理解とご協力の上記のように第40回目を開催いたしました。ここに改めてお礼を申し上げます。なお、通例では倶楽部開催後に懇親会を設けておりますが、今回も名刺交換会に限定させていただきました。